



毎日のお仕事お疲れ様です。作柄は全域でやや不良傾向です。5月後半の高温で生育が進んでいます。早めの意識のなかで管理作業を進めてください。また、黒星病・せん孔細菌病感染拡大要警戒中です。一定の間隔で薬剤散布を進めてください。

◆ 【注目】花芽を着けよう！シナノリップ新梢管理講習会の開催について

部会としての導入から4年目を迎えた期待の早生種シナノリップ。今年は各地で結実が確認され、一定量の出荷が見込めます。ただし、現地からは「花芽が少ない…着かない…」等の声があがっています。そこで良品生産にむけ講習会を計画しました。お忙しい時期ですが都合をつけて参加ください。

- 日時・集合：6月25日（火）午前11時・日野事業所前
- 内容：①リップ4～5年生樹（マルバ）の新梢管理のポイント ②摘果方法・収穫時期について他
- 講師：北信農業改良普及センター重藤奈央さん JA 園芸課
- 問い合わせ先：園芸課 早川（090-1867-2505）



【主なポイント】 ＊詳しくは講習会で

- ① 主枝候補枝等の誘引 ⇒ 60℃目安・8月以降は枝が固くなり欠損する場合があるので7月末までに
- ② 主枝等先端に発生した新梢（3本程度）は下向き1本を残し、残りは摘芯（基部3～4枚）等をする。
- ③ 不要な徒長枝は早めに摘芯等を行い、次年度の結果枝候補に良く陽を当てる。

シナノリップは若木時代樹勢が強く、枝は直立性が非常に強いので、樹勢が落ち着くまでは花芽が着生しない性質があります。よって、早い段階の誘因作業が必要です。

◆ 黒星病発生状況 2019

5/13の降雨で感染したと推測される黒星病の被害が確認されています。現状では、発生は少ない模様ですが、梅雨明けまで果実感染が心配されます。引き続き、一定の間隔で薬剤散布を進めてください。また、気温が低下するお盆過ぎから再度感染（葉へ）が始まります。お盆過ぎ～9月末まで薬剤散布を徹底し『来年度感染源を作らない』対策を講じてください。詳しくは時期の果樹特報でお知らせします。

【日曜仕上げ摘果青空教室の開催について】 ＊6/17 組合員訪問で詳細通知を配布しています。

りんご・ももに分けて仕上げ摘果のポイントを中心に講習会を開催します。当日は個別の質問もお受けします。お忙しい中ですが、足をお運びください。

- 日時・集合：6月29日（土）りんご 午前10時 科野事業所前 6月30日（日）もも 午前10時 南部共選所
- もも内容：仕上げ摘果、袋掛け、夏季管理、収穫前管理など
- りんご内容：ふじの仕上げ摘果のポイント（資料説明と実演）・若木の摘果と夏季管理・初夏の何でも相談
- 問い合わせ先：園芸課Tel23-3933 早川（りんご）・金井（もも）・原澤（もも）

◆ ふじ仕上げ摘果のポイント

本年は隔年結果による花量不足・開花期の低温遭遇等で結実が悪い状況です。『摘果時間もいつもの半分…』との声も多々あがっています。本年は変形果・小玉・着果位置の悪い果実も含めて収穫量を確保するように対策を講じてください。

- ① 同じ側枝内なら、良い果実が一部に偏っていても良い。
- ② 若木の骨格枝育成や伸ばしたい枝の先端部には着果させない。
- ③ 日焼け果になりやすい位置の果実はできるだけ落とす。
- ④ 日当たりの良い枝と悪い枝では着果量を加減する。日当たりの良い枝は多めにつける。
- ⑤ 樹勢によっても着果量を加減する。弱い樹は少なく、強い樹は多めにつける。
- ⑥ 肥大しても枝にあたらず傷がつかない果実。収穫時には縦横10cm弱は肥大することを考慮する。
- ⑦ 太い結果枝より落ちていた枝（果台を何回も通ったもの）で細い結果枝の果実。（下図参照）
- ⑧ 果台が2cm以上の長いところへ結実した果実はできるだけ除去する（ふじ）。

果台と果台枝に注目

果台枝がいつまでも伸長している果実は、摘果時にいくら大きくても良い果実にはなりにくい。生育が進むにつれ肥大が止まり、逆に小玉で地色が抜けない果実になりやすい。

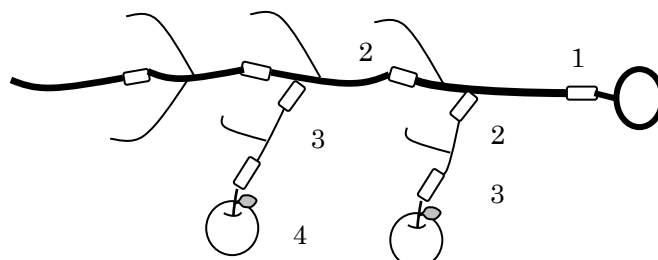


図 着果させたい結果枝